



全教北九州 女性部 いきいきニュース

発行
全教北九州市教職員組合
女性部
2022.1.28

全教北九州

検索

この新聞は女性教職員のみなさんに配布しています



新春女性部交流会を開催しました！

明けましておめでとうございます。今年は暖かいお正月となりましたね。

感染予防をしながら、初詣や初売りなど楽しんだことと思います。

そんな冬休みの1月6日(木)に、恒例の女性部交流会をウエルとばたで開催することができました。毎年、自己紹介だけでは「話したいこと」「聞きたいこと」が満足にできないと感じたので、今回はおしゃべりメインの会にしてみました。

職場の様子や組合で助け合った事例などをざっくばらんにおしゃべりして、景品付きの福笑い大会やジャンケン大会もみんなで笑いながらやり、和やかに過ごすことができました。集まってみれば、「たのしかった～！」の笑顔でした。

今年は参加できなかった皆さんも、ぜひ来年は参加してみてください！意外とクセになりますよ。(笑)



この人だれ？



この人だれ？



この人だれ？

楽しい
おしゃべり会

第47回全教女性部委員会

1月9日(日)オンラインで全教女性部委員会が行われました。今年1年間の女性部の運動や功績を交流し合い、また今の情勢や経過報告を受けました。

午前中には、全教顧問弁護士の富永弁護士による「ハラスメント解決のための学習会」も行われ、自分の勤務校の状況と重ね合わせながらお話を聞くことができ、とても勉強になりました。今後のアプローチを考え直すきっかけにもなる内容でした。もっと教員同士のハラスメントについて知り、アンテナを立てておく必要があると思いました。

午後からの運動交流では、多くの組織から「不妊治療に関する休暇」についての報告がありました。

北九州市では現在病気休暇として取得していますが、秋の交渉で4月から単独の「不妊治療休暇」が実現しました。しかし、これだけではとても不十分という声もあります。治療日数もさることながら、治療にかかる費用負担、精神的負担、デリケートな問題でもあります。今後ともより良い制度になるよう運動を進めていきたいと思っています。

北九州市 不妊治療のための休暇制度(22年度から)

- ・有給・会計年度任用職員にも適用
- ・一休暇年度に(4月～3月)5日(1日、半日または1時間単位)の範囲内。ただし、体外受精や顕微授精等の頻繁な通院が必要な場合は、さらに5日を加えた範囲内とする。